

被災地の一日も早い復興を願って



4月19日に義援金箱を設置した矢野議長と嶋野町長

4月14日から立て続けに熊本地方を襲った大地震。被災した方々が一日でも早く平穏な生活を取り戻せるよう、4月19日、町内7か所に義援金箱を設置しました。みなさまの温かいご支援をよろしく願います。**〔設置場所〕** 一覧▶役場本庁▶方城支所▶中央公民館▶公民館金田分館▶公民館方城分館▶方城診療所▶コスモス保健センター

また、4月22日から3日間、役場の有志8人と地元企業が共同し、熊本市などで炊き出しのボランティアを行いました。詳細は次号でお伝えします。

ray for Kumamoto

インフォメーション & ニュース in FUKUCHI

tax deadline

5月上旬、平成28年度の「軽自動車税」と「固定資産税」の納税通知書を発送しました。納付期限は次のとおりです。期限を過ぎると督促料や高額な延滞金が課される場合があります。

軽自動車税 5月上旬発送

全期▶5月31日(火)

固定資産税 5月上旬発送

1期▶5月31日(火) 2期▶8月1日(月)

3期▶9月30日(金) 4期▶12月26日(日)

町県民税 6月上旬発送

1期▶6月30日(木) 2期▶8月31日(水)

3期▶10月31日(日) 4期▶11月30日(金)

問 役場税務課課税係 ☎22-7762

国民健康保険税 7月上旬発送

1期▶8月1日(日) 2期▶8月31日(水)

3期▶9月30日(金) 4期▶10月31日(日)

5期▶11月30日(火) 6期▶12月26日(日)

7期▶1月31日(火) 8期▶2月28日(金)

問 役場住民課保険係 ☎22-7761

平成28年度町税納付期限

町税の納付し忘れにご注意ください

apan open

飯塚国際車いすテニス大会の出場選手が集う交歓会が福智町で開催されます。場内での飲食は食券方式(1枚100円)で、収益の一部が義援金として日本赤十字社に送られます。

日時▶5月20日(金) 19:00開会

場所▶金田体育館(金田駅裏に駐車場あり)
※小学生以上は100円の募金をお願いします。
※試合は5月17日(火)~22日(日)に筑豊ハイツ・筑豊緑地で行われます。国枝慎吾選手など世界的プロの試合を、ぜひ間近でご覧ください!

問 役場福祉課 ☎22-7763



海外選手に福智の伝統を披露

2016 飯塚国際車いすテニス大会 国際交歓会

車いすテニス大会出場選手をおもてなし

新たな拠点の誕生に向けて



図書館・歴史資料館への改修工事が始まった旧赤池支所

来年3月にオープン予定の「福智町図書館・歴史資料館」の改修工事が4月から始まりました。合併後10年間、赤池支所として利用されてきたこの建物。改修し、新たな拠点として生まれ変わること、施設の有効活用を図っていきます。なお、証明書の発行などの「赤池支所機能」は「中央公民館」へ。学校教育課、生涯学習課などの「教育委員会機能」は公民館を除いて「方城支所」へ移転しています。お間違えの無いようご注意ください。なお、変更後の電話番号などの情報はP8をご覧ください。

図書館・歴史資料館改修工事

under construction

福智ならではの教育確立へ向けて

金田小・中学校を義務教育学校に

福智町/福智町教育委員会

金田小・中学校の老朽化に伴い、金田地区の教育環境整備が長年の課題となっていた福智町。改築補強が新校舎建設か、また、教育効果や建設の費用対効果、防災設備としての活用方法など、これからの福智町に合う施設を模索してきました。そのような中、学校教育法が一部改正され、今年4月1日から「義務教育学校」の制度が施行されました。

▶新しい学校として定められた「義務教育学校」とは、小中学校が1つの学校となり、小・中学校の教職員が一緒になって、9年間を一貫して教育する学校。小学課程6年と中学課程3年です。義務教育学校にすることによって、学校独自の9年間の教育課程を作ることができ、自尊感情の向上、学力の向上、不登校の減少などの効果が期待できます。国の教育施策を融合させながら、福智町ならではの教育を確立し、町の将来を担う人材を育成していきます。



4月19日に金田分館で開かれた保護者対象の説明会

教育のまちへ

福智町教育委員会
ニュース

Fukuchi town Board of Education
NEWS

将来が託された人材育成とその使命を担う学校教育：改革に向けて始動しました。

要望書を福岡県に提出

田川地区の公立中高一貫校実現に向けて

田川地区中等教育環境整備検討委員会

田川8市町村の首長で組織する「田川地区中等教育環境整備検討委員会」では、田川地区の教育環境の整備を進めています。「教育のまちたがわ」の実現に向け、「田川はひとつ」を合言葉に議論を進める中、高校進学時に田川地区の子どもたちが、より学力水準の高い地区へ進学する現状に着目。低下傾向にある田川地区の生徒数や学力水準を引き上げるため、委員会では「中高一貫教育の制度化」を8市町村の重点目標として打ち出しました。



8市町村による委員会及び幹事会

▶よりよい教育環境の整備に向けて議論を重ね、3月11日に各首長の連名で小川洋県知事と城戸秀明県教育長に、中高一貫校の整備に関する要望書を提出。今回提出した要望書をもとに、田川地区の未来を担う若者たちを育成していくための方策を福岡県と8市町村が強力なスクラムを組んで、「教育のまちたがわ」の実現に向けて取り組んでいきます。

教育改革で創る人とまちの未来

小 中一貫の義務教育学校は、学力だけでなく一人ひとりの子どもをより大切に育む政策。小・中で情報を共有した一貫教育が可能になります。福智町の保護者の多くは共働き家庭で、さらに地域のつながりも減少する中、教育の核となる学校の重要性は高まるばかりです。

▼一方、田川地域の中高一貫校は子どもたちの進路の選択肢を広げる広域政策。毎年、田川地域から100人以上が区域外に進学する現状に歯止めをかけ、教育のまちづくりの環境整備に力を尽くします。



嶋野 勝 福智町長